

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 237 2015.8.26 連絡先 402-1622 >

9月定例会

24日に始まった定例会。44年ぶりの国体との関係で一般質問が行われな本会議となっています。24日の議案説明のあと、25日には質疑が行われました。

上程されている議案は、補正予算、条例改正、市道の認定・変更、工事の請負契約の締結等です。これらのうち、補正予算（地域支え合いセンター整備費補助金、既存介護施設等のスプリンクラー整備費補助金、子育て支援・ソフト制作委託料、公園整備事業・解体撤去工事請負費、屋内運動場吊り天井撤去事業・工事請負費など）について姫田議員が質疑しました。

しんぶん赤旗「潮流」より

長い夏休みの終わりが近づき、宿題に追われる子どもたちも多いのでは。最近は宿題代行業者に丸投げする親子も。これでは何のための宿題なのでしょう。東京にある女子学院では36年間、中学3年の夏に同じ課題を出してきました。「身近な人たちの戦争体験聞き書き学習」。戦争を知らない世代が増えてきたことがきっかけです。祖父母や両親をはじめ、親類縁者から

語り部まで対象はさまざま。表現方法も伝聞体だったり、体験者に成り代わって伝えたり。ちがう時代を描く苦労は大変ですが、肉親と真正面から向き合う機会を得たという生徒たち。これまで本や映画の世界、歴史上の出来事だった戦争が今に生きる自分につながった数々の作文。そこから選んだ2話が『戦争しない国が好き』（高文研）と題して出版されました。本の編者で当初から聞き書き学習にとりくんだ小野田明理子さんは「受け身ではなく、自分が歴史の主人公になる学習だった」。何も語りたがらない父に頼み込み、空襲で火の海のなかを家族で逃げつづけた話を聞いた生徒は、こんな付記を。「戦争は悲しくて、つらくて、苦しくて、誰もよい思いをしないものであることを知ってほしい」。もし、全国の学校教育の現場でこうした試みを取り組まれたとしたら。東京大空襲の語り部でもある作家の早乙女勝元さんが本のあとがきに記しています。「この国の未来に新たな『戦前』『戦中』があるはずがなく、いついつまでも『戦後』がつづくの」と。（しんぶん赤旗 2015・8・22）

みち子のひとりごと ピーピーピー

ある夜、どこからともなくピーピーという電子音が聞こえます。冷蔵庫開けっ放しかな。見てみると閉まっています。そのうちピーのあとに「配線を確認してください」という女性の声も聞こえてきました。3回繰り返します。家の中ではなく外からのようですが、なかなかその発声現場を確認できません。時には数十分おきに、あるいは忘れたころにしゃべります。あるとき、ピーが聞こえてすぐに玄関を開けてみました。なんと、我が家のドアフォーンが赤い点滅とともにしゃべっています！

管理会社に連絡すると、報知器関係の人が来てくれて異常なし。次はメーカーの人が来て、見た限り壊れていない。基盤が悪いのかも交換。「これで大丈夫でしょう」と言って帰ったものの、その晩やっぱり「ピー、配線を確認してください」。再度連絡をして今度は丸ごと交換。やっと静かになりました。

3週間聞いていた声がしなくなつて何だか寂しい？ 気もするこの頃です。





熱い心で 大門みきし

議場が味方に

「議場が大門さんの味方になってしまう」元閣僚や他党議員が言います。

2001年から始まった小泉「構造改革」路線では、そのブレンである竹中平蔵大臣（当時）とは50回以上にわたり激しい論議を展開。弱肉強食の「構造改革」に疑問を抱いていた、参院自民党の幹部や他党議員から「いよっ、竹中の天敵、がんばれっ」とかけ声がかかりました。相手の論拠を掘り崩す大門さんの論戦は、反論を不可能にし、政治を具体的に動かしてきました。

2010年、日本郵政の、非正規労働者を正社員にせよという大門さんの要求に亀井静香大臣（当時）がこたえ、1万以上の正社員化が進みました。

安倍内閣に、最低賃金引き上げを中小企業支援とセットでと提案。アメリカでは「最賃引き上げはビジネスにも地域経済にも利益になる」と経営者が支持声明を出していると紹介し、「最賃引き上げが企業業績を伸ばすということだ。発想の転換が必要だ」と強調。首相は「重要な指摘があった、研究しなければならぬと思った」と答弁しました。



8.15終戦の日

松坂みち子の1日

10:40～ 清水ただし衆院議員がJR和歌山駅で宣伝。奥村県議、南畑・中村市議も一緒に宣伝カーの上で手振ってあいさつ。



12:00～ 岡山の時鐘堂で平和を願う鐘つきに参加。

14:00～ 毎月定例の歌声喫茶。いつになく多い平和の歌を気持ちを含めてアコ伴奏。

17:30～ 平和委員会の一員としてJR和歌山駅前、戦争法案反対の宣伝行動。



「九条の会・わかやま」連続講座 戦争しない国をいつまでも

9月12日（土）14:00～16:30
北和歌山県JAビル11階 会議室11-AB
1部 「私と憲法9条」（仮題）
花田恵子氏（NPO法人和歌山有機認証協会副理事長）
2部 「戦争する国はどんな国か
～自民党改憲草案の異常さに見る～」
森 亮介氏（弁護士）